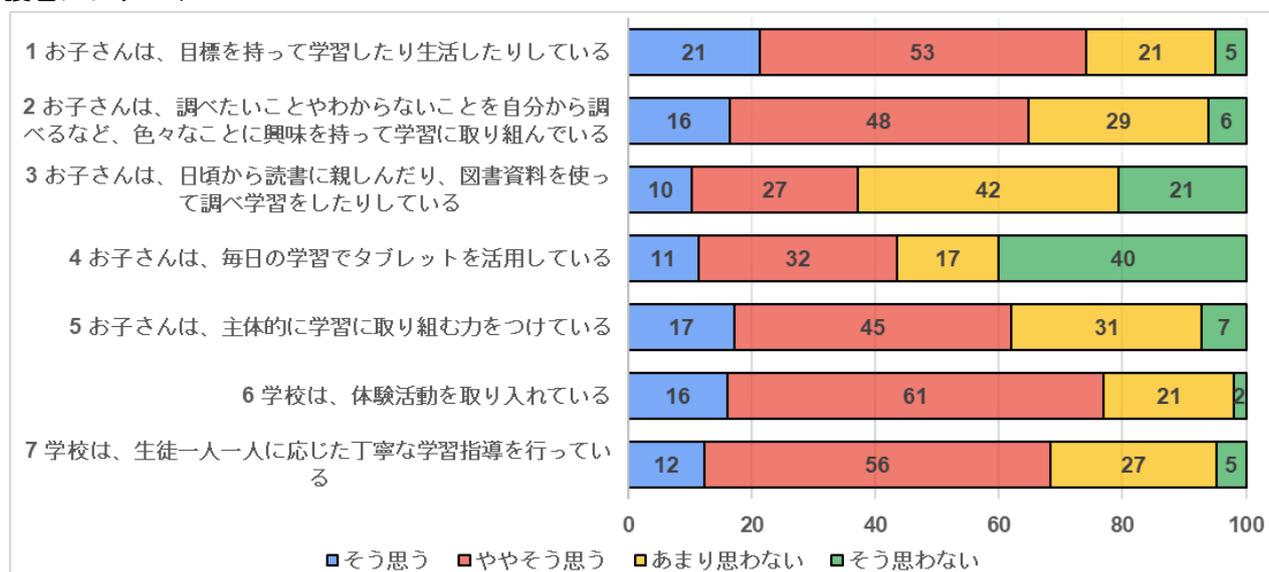


令和6年度 学校評価アンケート（前期）の結果について

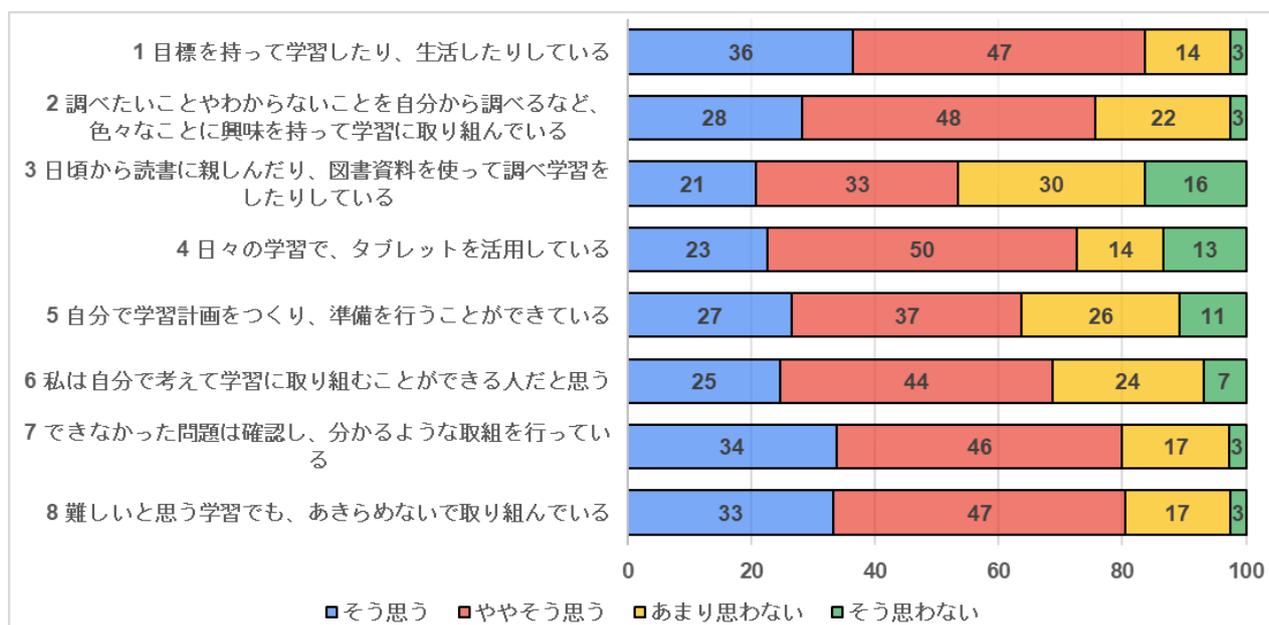
市川市立第二中学校

1 「確かな学力」について

保護者アンケート



生徒アンケート



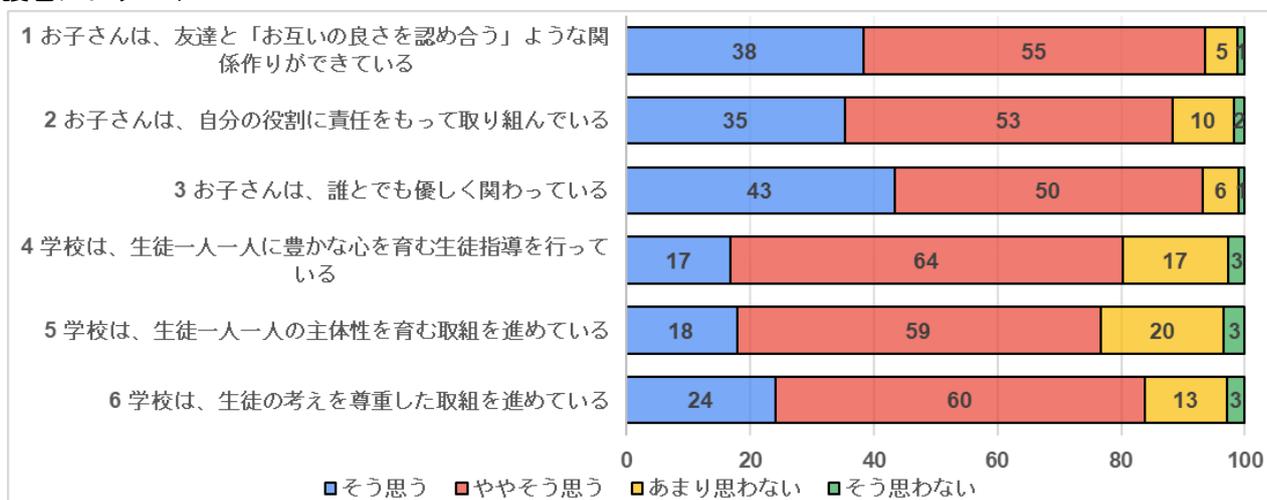
- ・ 1, 2は市内共通の項目ですが、生徒・保護者とも市内平均（保1＝70、保2＝62、生1＝79、生2＝74）を上回る結果となりました。本校の生徒は目標を持ち、興味関心を持って自分から学習に取り組む態度が育っているとと言えます。今後も特に2において高い評価が得られるよう、学習課題の精選や学習支援の方法の工夫に取り組んでまいります。
- ・ 3, 4も市内共通の項目です。生徒・保護者とも市内平均（保1＝35、保2＝36、生1＝46、生2＝52）は上回りましたが、課題の残る結果となりました。読書については、朝読書、学校司書や図書委員を中心にした様々な活動や図書館の環境整備、教科学習や総合学習と連携した図書資料活用推進など、様々

な取組を行っているところですが、引き続き推進してまいります。タブレットの使用については生徒アンケートの結果は比較的良好なことから、学校においては活用が進んでいることがわかる結果でした。半面、保護者アンケートの結果から、家庭でのタブレット活用及び、学校での活用状況の周知が課題であるととらえ、家庭における活用促進、学校での活用状況の周知に取り組んでまいります。

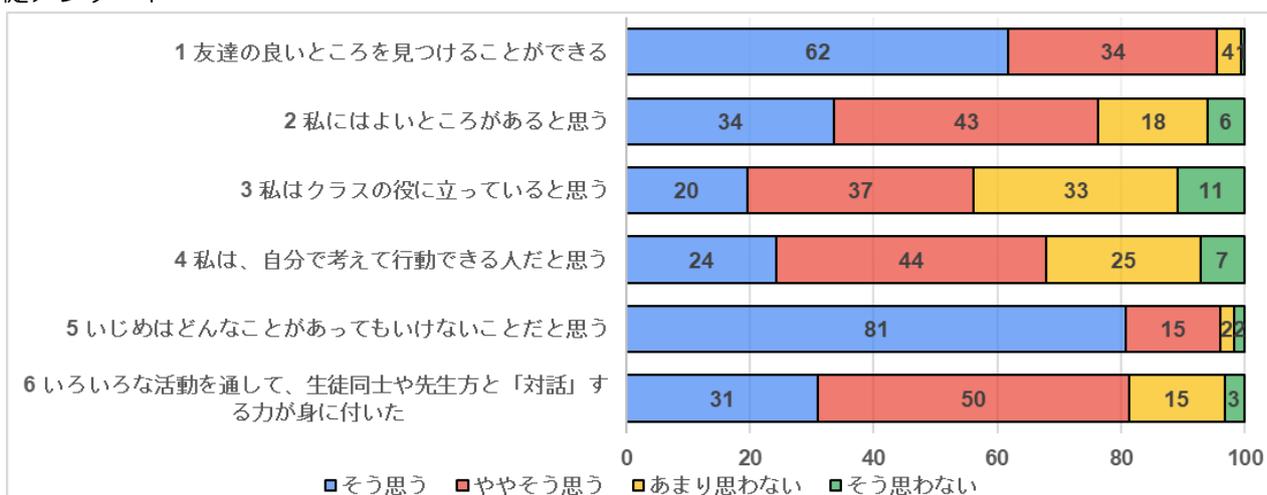
- ・本校の教育目標の柱の一つである、「主体的な学び」については、保護者アンケート5の結果は高いものではありませんでしたが、生徒アンケート5、6の結果から生徒は自分で学習の計画・準備を行い、自ら考えて学習に取り組む姿勢が育ってきており、生徒アンケート7、8の結果から、自ら工夫して粘り強く学習に取り組んでいることがわかります。今後とも生徒の学びを支え、自ら学ぶ力を育てる取組を継続・発展させてまいります。

2「豊かな心」について

保護者アンケート



生徒アンケート



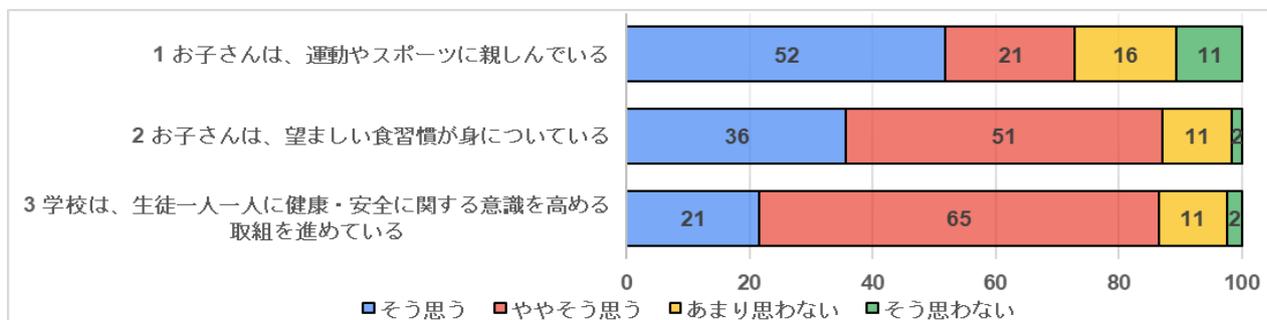
- ・保護者アンケート1～3の結果から、本校の生徒は保護者の目から見ても、他者の良さを認めてよい関係を築き、集団の一員として責任をもって役割に取り組むなど、豊かな心が育っていることがわかりました。また保護者アンケート4～6の結果から、生徒の考えを尊重し主体性を育む、豊かな心を育てる本校の取組についても一定の評価をいただいていることがわかりました。今後とも二中生の良さを大切

にし、いろいろな意味で豊かでしなやかな心を持った生徒を育てる教育活動・生徒指導に努めてまいりたいと思います。

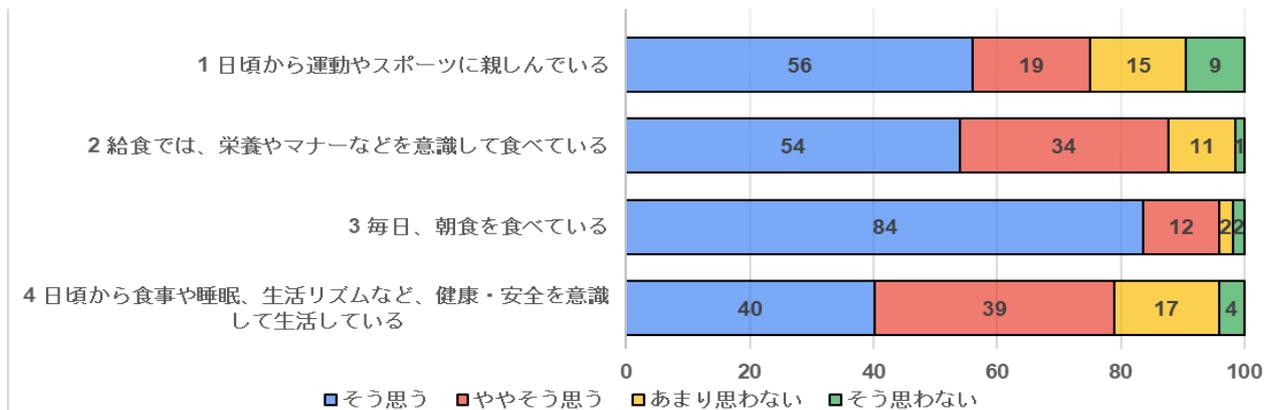
- ・生徒アンケート1は、中学生は非常に高い割合で他者の価値を認めることができる豊かな心も持っていることがわかる嬉しい結果でした。自己肯定感を示す生徒アンケート2の結果は、一昨年度(69%)、昨年度(74%)、今回(77%)と向上しており、自己有用感を示す生徒アンケート3の結果も、一昨年度(47%)、昨年度(48%)から今回(57%)と大きく向上しました。自己肯定感、自己有用感の向上を最重要の課題の一つととらえて取り組んできた成果が出始めていると考え、引き続き生徒が自分の価値を実感できる取組を進めるとともに、まだまだ高い数字ではないので、さらなる向上を目指して工夫を重ねてまいります。
- ・いじめに関する生徒アンケート5の結果は、一昨年度(89%)、昨年度(88%)から今回(96%)と大きく向上しました。ここ数年この項目に対する回答が9割に満たなかったことは憂慮すべき事態であると考え、生徒会や学級委員を中心とする生徒の活動によっていじめについて考えてきた結果、今回改善したことは大きな成果です。今後も生徒自身のいじめに対する意識の啓発に努め、豊かな心を育むと同時にいじめの未然防止に努めてまいります。
- ・今年度は「対話」をテーマに生徒の活動や、職員・生徒の研修会や講演会を継続して行っています。これにつきまして生徒アンケート6の結果から、一定の成果が出ていると考えます。今後も継続して取組を行い、「対話」を軸にしたコミュニケーション力の育成を図ってまいります。

3 「健やかな体」について

保護者アンケート



生徒アンケート



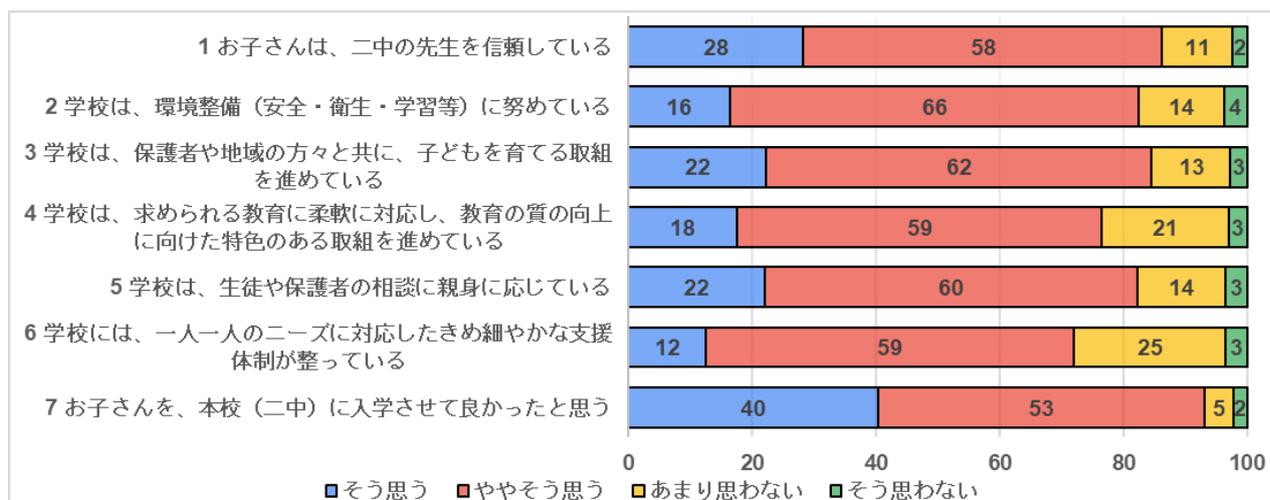
- ・保護者アンケート1及び生徒アンケート1の結果はどちらも市内平均(保=71、生=74)を上回っており、本校の生徒は比較的運動やスポーツに親しんでいることがわかりました。保護者アンケート2、生

徒アンケート2の結果も市内平均（保2＝83、生2＝84）を上回っており、生徒アンケート3の結果も良好で、食生活や食に関する意識も高いことがわかります。体力の向上、食育は市をあげて取り組んでいる課題です。体育の授業で補強運動等を毎時間取り入れるなどの方策を継続し、基礎的な体力の向上に取り組んでいくとともに、食育を通して生徒の食の意識向上に継続して努めます。

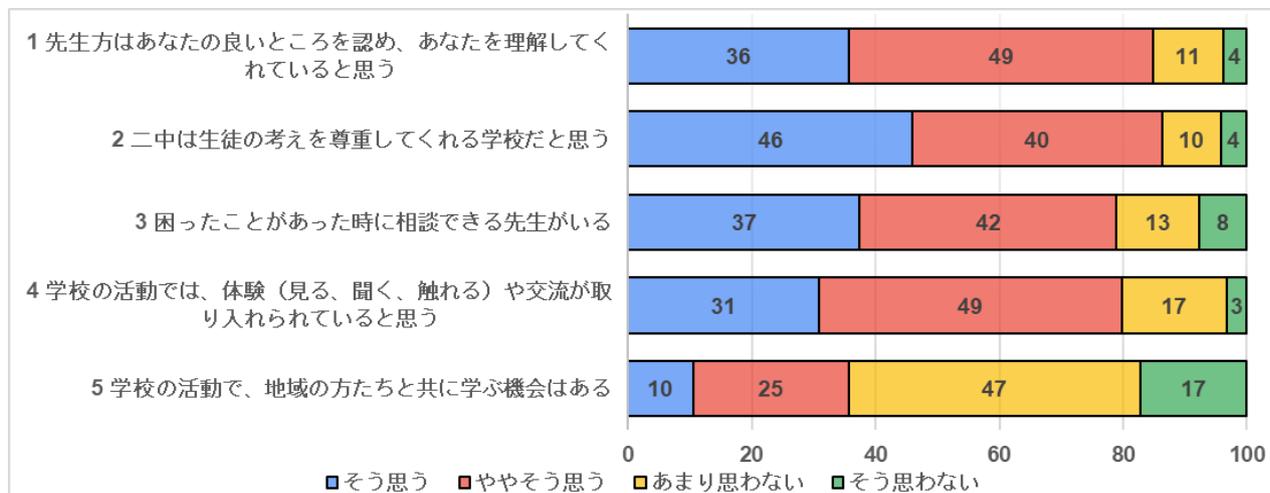
- ・生徒アンケート4の結果から、生徒の生活リズムに関する意識は比較的高いことがわかりました。しかし、今回は項目にありませんでしたが、昨年度の調査では、3割以上の生徒が就寝時間が11時以降であり、2時間以上スマホを使用していると回答していました。引き続き、規則正しい生活習慣を身につけるため、生徒が自分の生活習慣を見直し、望ましい生活リズムの確立に生かす取組を進めます。
- ・同じく、生徒アンケート4から生徒の健康・安全に対する意識は比較的高く、保護者アンケート3から、健康・安全に関する学校の取組に対する評価も継続して良好です。今後もブロックで連携した引き渡し訓練を継続するとともに、地震発生を想定した訓練や、消火器を使った消火訓練等を行い、災害時に適切に対応できる力の育成に努めていきます。また、食育の推進とともに、「がん教育推進教師」を置き、外部講師による講演会の開催など、健康教育（ヘルシースクール）の推進に努めます。

4 「信頼される学校」について

保護者アンケート



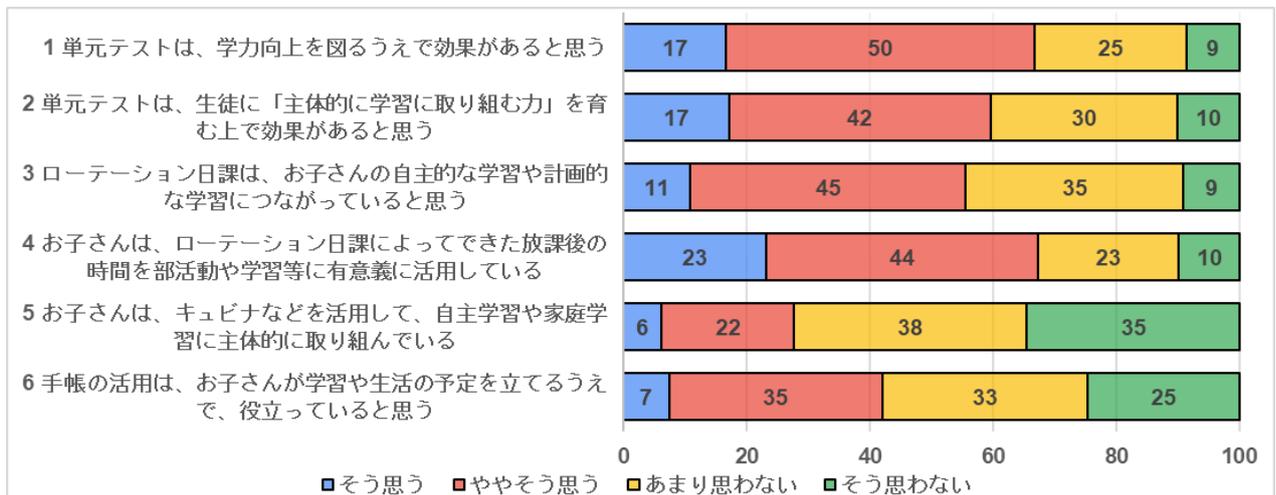
生徒アンケート



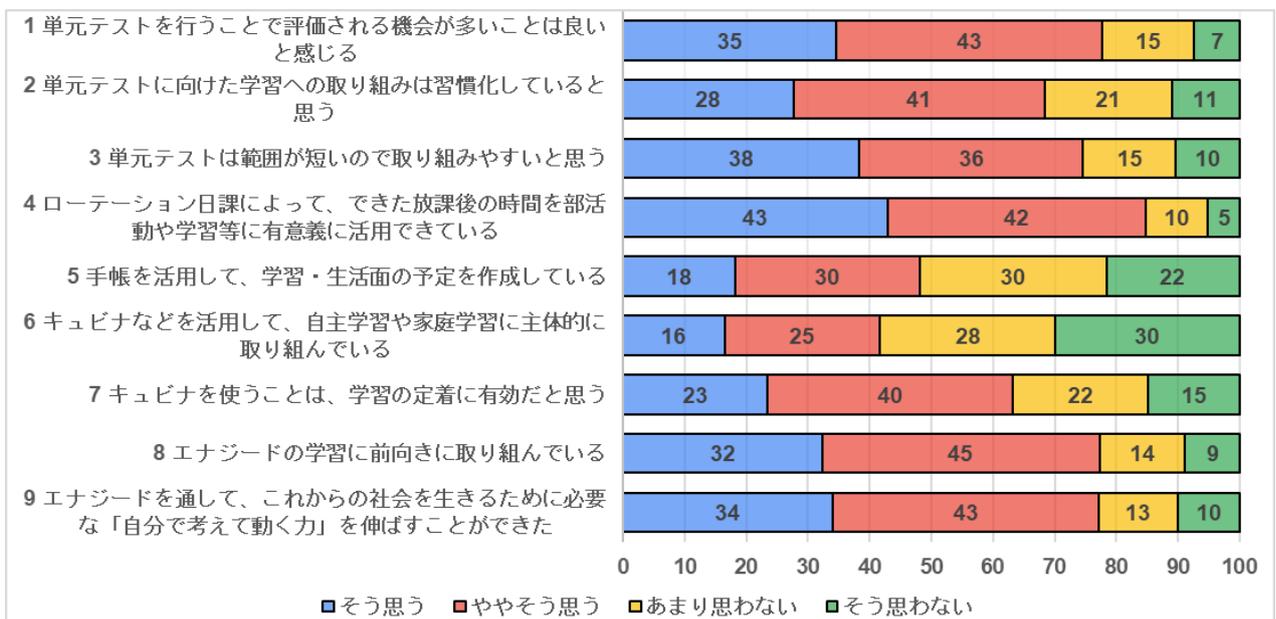
- ・保護者アンケートでは、ほぼ全ての項目で高い評価をいただきました。7では9割を超える保護者の皆さんに「二中に入学させて良かった」と感じていただけていることがわかりました。今後もこの信頼を損なうことのないよう、丁寧で質の高い学校教育の継続に尽力してまいります。また、8割に届かなかった6の、「一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制の整備」をはじめ、各項目の取組で現状に満足することなく、常によりよい教育活動を目指して改善に取り組んでまいります。
- ・生徒アンケート1～3の結果から、生徒も教職員や学校の生徒に対する姿勢を信頼してくれていることがわかりました。これからも、より強く信頼してもらえよう、関係作り、体制作りを努めてまいります。
- ・生徒アンケート4の結果から、生徒は体験活動や交流は充実していると感じているものの、5の結果からは地域との交流については不足していると感じていることがわかります。地域との信頼関係をより良好なものにするためにも、地域との連携、交流をこれまで以上に充実させていきたいと考えます。

4 二中の取組について

保護者アンケート



生徒アンケート



- ・保護者アンケート1～4の結果から、単元テスト・ローテーション日課の効果については、保護者の皆さんから一定の評価をいただいているものと考えます。さらに、生徒アンケート1～4により、生徒はより高い割合で単元テスト・ローテーション日課を肯定的に受け入れていることがわかりました。自由記述欄には単元テストに関するご意見が、今回も一定数ございましたので、別途、主なご意見をご紹介しますし、学校の考えをお示しいたします。
- ・A I型教材キュビナの活用については、生徒アンケート7の結果から、生徒はその有効性については実感しているものの、生徒アンケート6、保護者アンケート5の結果から、十分に活用できているとは言えない状況です。キュビナをはじめとするICT教材の家庭学習等での有効活用について、生徒の実態に合わせた有効活用の方策を検討し、実施してまいります。
- ・今年度から導入した、学生向けビジネス手帳「フォーサイト」については、保護者アンケート6、生徒アンケート5の結果から、現状として活用が進んでいるとは言えない結果でした。単元テスト等に向けた学習計画のみならず、勉強や部活動において目標を設計して計画的に生活し、習慣的に見直しを行うことで努力が成果に結びつく実感を育て、自ら学ぶ力を身に付けてもらうことを狙っていますが、子供たちにとってなじみのない取組ですので、導入の時点から少しずつ活用が進むことを想定して段階的に取組を進めています。今後も継続してまいります。
- ・今年度から全学年の総合的な学習の時間に導入した、次世代型キャリア教育プログラム「エナジード」については、生徒アンケート8、9の結果から、生徒は前向きに取り組み、「自分で考えて動く力」を身につけるなど効果を上げていると考えられます。今後も有効に活用してまいります。

5 自由記述欄について

・生活面について

生活面については、「普段子供と話す限りでは充実した学校生活を送れていると感じている」「このクラスでよかったと毎日楽しく学校に通っていますし、体育祭を見てもわかるように荒れた子もいなく、とても安心して学校生活を送れる事に有り難く思います」「校則や学校の雰囲気が変わって過ごしやすくなったように感じます」など、肯定的なご意見を複数いただきました。半面、「規則が守られていないのでは」「1年生が落ち着きがない印象がある」「中学生になり友達関係が変わって少し心配になることがあります」など、生活面を心配するご意見もありました。すべての生徒が安心して充実した学校生活を送れるよう、今後も尽力してまいります。

服装面では「下に体操服上下をきている上に、直射日光を浴びながら30分通学は熱中症の危険性がないか心配になります。他校では体操服での通学を許可しているとのこと」など、夏季の制服での登下校についてのご意見が複数ありました。本校では数年前に暑熱対策も兼ねて夏服をポロシャツに変更しましたので、体操服での登下校は許可していませんが、昨今の猛暑を鑑み、今年度より夏季の一定期間、ポロシャツにハーフパンツでの登下校を認めることとしました。なお、制服の下の体操服の着用は着こなしの面からも暑熱対策としても、学校としては推奨していません。（禁止ではありません）

・学習面について

学習面では、単元テストに関するご意見を複数いただきました。最も多かったご意見は「試験ごとの順位が出ないため、相対的な位置がわからない」という趣旨のものでした。このことについては、「単

元のまとまりごとに学習の成果と課題を自分で把握し、主体的な学習によって改善して学力の定着を図っていく」ことが単元テストの目的ですので、各教科のテストの順位に大きな意味はないと考えて通知していません。学年や学級といった限られた集団の中での相対的な位置を知ることで、安心したり不安に思ったりするよりも、それぞれの結果の内容を丁寧に受け止め、改善のための学習につなげてほしいと考えています。なお、「相対的な学力の把握」や、「広い範囲の問題を制限時間内に回答する形式の試験を受験する経験」への対応といたしまして、「実力テスト」を定期的実施しており、順位も通知しています。1・2年生は年間3回、3年生は4～5回実施する予定です。

単元テストに関してのその他の意見として、「テスト範囲が急に変更になったり、変更した範囲の周知が十分でない」といったご指摘も複数ありました。授業の進度によってテスト範囲が変更になることはありますが、なるべく急な変更にならないようにし、変更があった場合は適切に周知するように改善してまいります。

・学校行事について

体育祭について「平日開催の体育祭は、とてもよかった」「生徒主体の体育祭を初めて見たが、とても素晴らしかった」など、評価するご意見を複数いただきました。しかし、「保護者観覧が石段のみだったが、体育館側も観覧可にして欲しい。前半クラスは、いつも体育館側で競技があったため全く見えなかった」とのご指摘を複数いただきました。来年度は改善する方向で検討しています。

・部活動について

部活動については活動日について、「土日は原則どちらかは休みという規定があるようですが、土日どちらも活動している部もあるようです」「土日どちらも活動があるのは、体の休息や学習時間の確保にメリハリがつかないのではと思います」といったご意見がありました。ご指摘のように、部活動ガイドラインにより、週末は原則土日のどちらか一日を休養日にすることが定められています。試合の日程等の関係でやむを得ない場合は、別日に代替りの休養日を設けることによって例外的に土日の両日に活動することも認められていますが、常態的にならないようにしなければなりません。ガイドラインを順守した適切な部活動の実施に努めてまいります。

夏季の部活動について、「倒れてからでは遅いです。安全を第一にして頂きたいです」といった、熱中症を心配するご意見が複数ありました。気温が高い時期の、部活動をはじめとする生徒の活動については、常に地域の熱中症警戒情報の把握や気温と湿度を加味した「暑さ指数」の計測を行い、「暑さ指数」が基準を超えたときは直ちに活動を中止するようにしています。また、こまめな水分補給や休憩、活動内容の考慮、エアコンの効いた部屋での体の冷却など、様々な熱中症予防対策を実施しながら活動しています。今後とも職員一同、猛暑の中での活動には常に熱中症の危険をはらんでいることを強く意識し、安全を第一にした活動を徹底してまいります。

・その他の主なご意見は、「職員の指導・対応について」、「学校の施設・設備について」、「感染症対策について」、「学校からの情報発信について」、「給食について」等でした。多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。それぞれのご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいりたいと思います。

6 学校運営協議会より

○手帳の活用について

〈委員より〉

- ・手帳の活用についての質問に対して、生徒・保護者とも肯定的な回答が半数に満たない。
- ・タブレットを活用するなど、デジタルで計画を立てさせる方法もあると思う。
- ・中学生には、ビジネス手帳を使いこなすのは難しいのではないか。
- ・TODOリストの作成なども必要である。使い方のノウハウを教えるなどしているか。
- ・計画はいつ立てるのか。活用する時間を確保しているのか。金曜の帰りなどに時間をとってはどうか。

〈学校より〉

- ・将来に向けてもこれを活用するメリットがあると考え、職員向けの説明会や生徒向けの説明会を実施し、帰りの会で記入する時間をとるなどして、段階的・計画的に活用を進めている。
- ・(実物を委員に回覧し)「やること」(TODOリスト)の欄などもあり、中学生が活用しやすいように工夫したビジネス手帳になっている。

〈委員より〉

- ・(実際に手にして) TODOリストもあり、使いやすそう。自分も使ってみたくなった。今後も有効に活用できるように取組を進めてほしい。

○給食について

〈委員より〉

- ・自由記述欄に一部、量や味について否定的な意見があったが、給食の予算はどのくらいなのか。

〈学校より〉

- ・給食無償化により家庭からは集金していないが、一食あたり 396 円である。栄養職員も調理員も日々努力して、おいしくて栄養のある給食の提供に尽力している。

〈委員より〉

その金額では、品数を増やすのは難しいだろう。よくやってくれていると思う。

○生徒アンケートについて

- ・生徒アンケートでの自己肯定感や自己有用感を示す値が上昇しており、全国学力学習状況調査のアンケートでも「自分に良いところがあると思う」に肯定的な回答をして生徒の割合が全国や県に比べて高いことは評価すべきである。
- ・ローテーション日課によってできた時間を、生徒は有意義に活用しているようなので、今後も推進してよいと思う。

○その他のご意見

- ・保護者・生徒ともアンケート結果が良好で良かった。全国学力学習状況調査の学力の結果が全国平均を大きく上回ったことも、これまでの二中の様々な取組の効果が表れた部分もあると思う。これからも有意義な取組を続けてほしい。
- ・教務主任が子どもたちから意見を吸い上げる取組を行うことも考えてはどうか。